

9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

① 組合消防費（環境政策課）

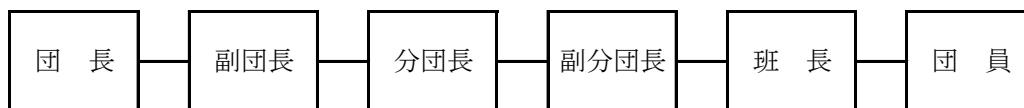
乙訓消防組合に対し、分担金を執行した。

9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

① 消防団活動費（環境政策課）

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、消防団長以下全消防団員が一致団結し、向日市及び乙訓消防組合向日消防署とともに協調を図りつつ、日夜防火防災活動に、また、各種訓練に鋭意努力し、市民生活の安心と安全確保に努めている。

1 組 織



物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野及び向日の各町に分団を置き、各分団は、分団長1人、副分団長1人及び班長3人の幹部並びに20数人の団員により編成され、それぞれ消防ポンプ自動車1台を配置している。

2 定員と現在員

条例定員 150人 現在員 150人

3 年報酬と費用弁償

（ 年 報 酬 ）

区 分	金 額
団 長	214,000 円
副 団 長	170,000 円
分 団 長	100,000 円
副 分 団 長	74,000 円
班 長	60,000 円
団 員	52,000 円

（ 費 用 弁 償 ）

区 分	金 額
災 害 出 動	3,000 円
警 戒 出 動	2,000 円
訓 練 出 動	2,500 円
賄 費	1,000 円

4 表 彰

(1) 京都府知事表彰	(精励章)	木村 俊彦 さん
	(精励章)	長谷川 雄彦 さん
(2) 日本消防協会会長表彰	(精績章)	安田 隆司 さん
(3) 京都府消防協会会長表彰	(功績章)	大西 郁雄 さん
	(精績章)	安田 眞也 さん
	(精勤章)	伊藤 久 さん
	(精勤章)	天野 俊宏 さん

5 研 修

京都府立消防学校へ団員を派遣し、次の教育を受講した。

消防団員幹部教育初級幹部科（第3期・南部）（1日）2人

6 訓練・教育

(1) 訓練

ア 幹部団員及び初級団員訓練

平成21年4月5日（日）に、向日市役所前駐車場において、幹部団員及び初級団員訓練を実施し、幹部団員及び新入団員等に対して消防団活動に必要な規範訓練等を行った。

イ 第18回向日市消防団消防錬成会

平成21年11月1日（日）に、第6向陽小学校グラウンドにおいて開催された第18回向日市消防団消防訓練錬成会に、各分団から選抜された選手計36人が出場し、約2か月の訓練の成果を発揮した。

ウ 二市一町総合消防訓練（署・団合同訓練）

平成22年3月7日（日）に、三菱製紙株式会社京都工場において、乙訓二市一町総合消防訓練が実施され、正副団長、団員10人の計13人が参加し、消防署と消防団の連携を強めた。

(2) 団員教養

ア 出火想定訓練

平成21年6月21日（日）に、向日町競輪場において出火想定訓練を実施し、向日市消防団の災害対応能力向上を図った。

イ 消防団救命講習

平成21年7月19日（日）に、向日消防署において救命講習を実施し、AED取扱いを含む、心肺蘇生法等の技能の習得を図った。

7 装備の点検整備等

(1) 消防自動車の法定点検状況

整 備 項 目	台 数
定期車検整備台数	3 台
定期点検整備台数	3 台

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具

機 械 器 具		個 数
小型動力ポンプ		6
救 助 器 具	バール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36

(3) 消防車両の更新

第6分団消防ポンプ車両の更新 1台

② 防火活動費（環境政策課）

消防行政に関する市民の声を的確に把握し、家庭における火災予防の普及徹底と防火思想の向上を図り、安全な地域づくりを目指すため、向日市女性防火推進員を置き、防火教室や救急講習を行い各種防火広報に努めた。

第9期女性防火推進員 29人

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

① 消防施設整備費（環境政策課）

1 消防水利の整備状況

消防水利を常に良好な状態に保つために、乙訓消防組合向日消防署員による点検パトロールや水利標識等の交換を実施している。

2 消防水利の状況

(1) 消火栓の状況

平成22年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準	54	140	31	24	47	14	310
基準外	21	45	25	53	72	5	221
計	75	185	56	77	119	19	531

(2) 防火水槽の状況

平成22年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準（有蓋） 40m ³ 以上	19	59	14	15	30	3	140
基準外（有蓋） 40m ³ 未満	2	4	1	3	0	0	10
計	21	63	15	18	30	3	150

(3) その他の水利の状況

平成22年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
その他	1	1	0	0	1	1	4
計	7	10	1	0	2	3	23

9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

② 災害対策事業費（環境政策課）

1 防災パトロール

梅雨期を迎えるにあたり、災害時に危険が予想される箇所の総点検を関係機関の協力を得て実施し、万全を期した。

本年度のパトロールは、平成17年度から京都府によって「急傾斜地崩壊対策事業」が進められている向日町南山の急傾斜地を選定。防災パトロール終了後、今後の対策等について協議した。

(1) 実施日 平成21年5月19日（火） 午前9時30分～午前11時15分

(2) 点検箇所 「急傾斜地崩壊対策事業」（向日町南山 向日神社）

(3) 出席者 市長以下30人

2 防災会議

(1) 開催日 平成21年8月19日（火） 午後2時～午後3時15分

(2) 開催場所 向日市民会館 第2会議室

(3) 審議内容

ア 平成20年度 防災関連事業報告について

イ 平成21年度 防災関連事業計画（案）について

ウ 平成21年度 向日市地域防災計画（一般対策編、地震対策編、事故対策編及び資料編）の修正（案）について

エ 平成21年度 向日市総合防災訓練実施計画（案）について

アからエの審議内容について承認を得た。

(4) 出席者 会長以下28人（防災会議委員19人、各対策部長4人、事務局5人）

3 防災対策

(1) 平成20年度に改正した地域防災計画の一般対策編、地震対策編、資料編を一部修正した。

(2) 自主防災組織の育成に努めた。 142組織

(3) 災害用備蓄物資及び防災用資機材の整備に努めた。

(4) 平成17年度から実施の南山急傾斜地崩壊対策事業を継続施工した。

4 市民啓発対策

(1) 「防災とボランティア週間」の取組として、市民会館において阪神・淡路大震災の写真パネルや京都西南部活断層地図、防災パンフレット等の展示（防災パネル展）を行い、市民への啓発を行った。

(2) 「広報むこう」等を活用し、市民への防災意識の高揚に努めた。

5 向日市総合防災訓練

防災対策を総合的かつ効果的に推進し、市民の防災意識の高揚及び防災関係機関相互の連携を図るため、地域の自主防災組織、防災関係機関等の参加協力のもとに総合防災訓練を実施し、消防訓練や防災機器等の展示などを含めた内容で実施した。

- | | | |
|----------|--|--------------------|
| (1) 日 時 | 平成21年 9 月 5 日 (土) | 午前 8 時から午前11時50分まで |
| (2) 場 所 | 主会場訓練 | 京都府立向陽高等学校グラウンド |
| | 災害対策本部設置訓練 | 向日市役所 |
| | 地域分散型訓練 | 上植野公民館、都市公園 7 か所 |
| | 広報・展示訓練 | 京都府立向陽高等学校グラウンド |
| (3) 主 催 | 向日市防災会議 | |
| (4) 参加団体 | 乙訓消防組合消防本部、向日消防署、向日市消防団、京都府山城広域振興局、京都府乙訓土木事務所、京都府向日町警察署、京都府警察本部広域緊急援助隊、陸上自衛隊福知山駐屯地第 7 普通科連隊、陸上自衛隊桂駐屯地中部方面後方支援隊、(社)乙訓医師会、向日市社会福祉協議会、向日市民生児童委員連絡協議会、向日市商工会、向日市指定上下水道協同組合、向日市水道メンテナンス、(株)京都衛生開発公社、上植野町自治連合会、鶏冠井区、周辺自治・町内会、西日本電信電話(株)京都支店、大阪ガス(株)京滋導管部、関西電力(株)京都支店、向日市立第 5 向陽小学校、向日市立第 6 保育所、向日市女性防火推進委員、森本区自治防災会、森本地区浸水排除対策協議会、向日区自主防災会、西向日自主防災会、向日市障がい者団体、京都府南部都市広域行政圏(宇治市・久御山町)、向陽福社会向陽苑、近畿コカ・コーラボトリング(株)ほか | |
| (5) 内 容 | ア 向日市災害対策本部設置訓練・・・市役所内 | |
| | ・自主参集訓練 | |
| | ・安否確認訓練 | |
| | ・被害状況調査訓練 | |
| | ・応援要請訓練 | |
| | ・応召訓練 | |
| | ・現地災害対策本部へ移行 | |
| | イ 主会場訓練・・・京都府立向陽高等学校グラウンド | |
| | ・現地対策本部設置運用訓練 | |
| | ・避難所設置訓練 | |
| | ・救護所設置訓練 | |
| | ・現地災害対策本部長到着訓練 | |
| | ・消防本部・消防団非常召集完了報告訓練 | |
| | ・被害状況報告訓練 | |
| | ・被災建築物応急危険度判定訓練 | |
| | ・自衛隊被害状況先行偵察・現地状況偵察訓練 | |
| | ・自衛隊警備幹部到着訓練 | |
| | ・現地対策本部会議 | |
| | ・住民避難誘導訓練 | |

- ・災害ボランティアセンター設置・運用訓練
- ・要配慮者安否確認訓練
- ・乙訓医師会到着訓練
- ・集団救急救護活動訓練
- ・障害物除去作業訓練
- ・復旧訓練
 - 水道管復旧訓練
 - 関西電力復旧広報訓練
 - 大阪ガス復旧広報訓練
 - 電話施設復旧広報訓練
- ・仮設トイレ搬送設置訓練
- ・緊急物資搬送訓練
- ・住民初期消火訓練
- ・建物下敷事故救助・救出訓練
- ・応急医療救護活動訓練
- ・事故車両救助救出訓練
- ・倒壊建物内人命検索及び救助・救出訓練
- ・医療機関搬送訓練
- ・物資配布訓練
- ・建物消火訓練
- ・会長訓練講評

ウ 地域分散型訓練・・・上植野公民館、鶏冠井・上植野町内都市公園

- ・安否確認訓練
- ・主会場への避難誘導訓練

エ 広報・展示訓練・・・京都府立向陽高等学校グラウンド

- ・起震車による体験コーナー
- ・パネル展示コーナー
- ・飲料水製造・非常食試食コーナー
- ・陸上自衛隊救助物資機材等展示コーナー
- ・配電線被害調査及び広報活動訓練
- ・ガス啓発コーナー
- ・特設公衆電話設置訓練
- ・木造建築耐震診断申込コーナー

(6) 参加者 2,000人

6 災害記録

大雨洪水警報等により、災害警戒本部を設置し、防災体制に万全を期した。

警戒種別	設置日	設置時間	閉鎖時間	動員数	備考
警戒本部	6月18日（木）	午後5時12分	午後6時46分	11人	大雨・洪水警報
対策本部	7月19日（日）	午後4時30分	午後11時7分	44人	大雨・洪水警報
警戒本部 （事務局対応）	7月22日（水）	午前1時43分	午前7時45分	10人	大雨・洪水警報 「土砂災害警戒 情報」受信
警戒本部	7月22日（水）	午後7時1分	午後8時30分	20人	大雨・洪水注意 報
警戒本部	7月27日（日）	午前0時2分	午前2時5分	10人	大雨・洪水警報
警戒本部	8月1日（土）	午前10時31分	午後2時1分	10人	大雨・洪水警報
警戒本部 （事務局対応）	8月2日（日）	午前1時45分	午前7時45分	8人	大雨・洪水警報
対策本部	10月7日（水） ～8日（木）	7日 午後8時34分	8日 午前7時42分	53人	暴風警報

7 自主防災組織活動助成

(1) 森本地区浸水排除対策協議会に対し、活動費を助成した。

(2) 自主防火防災用器具設置事業

自主防災組織の育成強化を図るため、自治会等に対し、自主防火防災用器具設置事業補助規則に基づき、防火防災用器具を設置する町内会等の自主防火防災組織に対して事業費の2分の1の補助金を交付した。

ア 平成21年度中防災用器具設置町内数 2組織

水バケツ 23個

イ 平成21年度中消火器具設置補助町内会数 28組織

(ア) 粉末消火器 100本

(イ) 格納箱 52個

ウ 平成21年度中消火器詰替補助町内会数 28組織

(ア) 泡消火器 45本

(イ) 粉末消火器 164本

8 国民保護対策事業

(1) 北朝鮮飛翔体発射に係る対応 4月

(2) 7市2町危機管理事務連絡会議（京都市役所） 10月

(3) 京都府・市町村国民保護事例研究（ルビノ京都堀川） 2月